

GO GREEN 緑でいこう

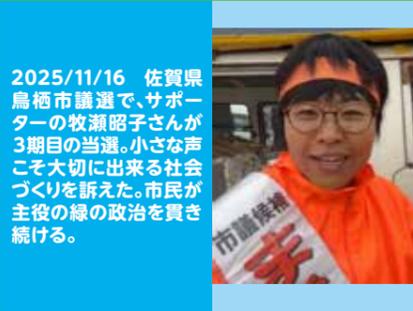
地球ひとつで生きる



2026/1/11 新事務所を移転した荻窪駅前、ベネズエラに対する米軍の介入に抗議した。



2025/12/18 東京地裁で気候正義訴訟の提訴・記者会見・入廷行動が行われた。緑の党も賛同し、多くの原告を呼びかけた。



2025/11/16 佐賀県鳥栖市議選で、サポーターの牧瀬昭子さんが3期目の当選。小さな声こそ大切に出来る社会づくりを訴えた。市民が主役の緑の政治を貫き続ける。

Interview

「気候正義」が掲げる公平性の視点から「気候危機解決」と「脱原発」の交差点に立つ

アクティビスト/原子力資料情報室

川崎 彩子さん

2000年北海道生まれ。明治学院大学国際学部国際学科卒業。大学の授業で気候変動に危機感を覚え、環境NGO FoE Japanのシンポジウムに参加。「気候正義」の考え方に共鳴し、活動を始める。2021年よりFridays For Future (FFF)のメンバー。2024年8月に提訴された若者気候訴訟の原告でもある。2024年に参加した韓国の気候正義行動と脱原発の交流会で、改めて「市民の力」を再確認。以来、韓国・台湾とも連帯しながら脱原発を訴え続けている。2025年4月より原子力資料情報室スタッフ。

新潟県の柏崎刈羽原発、北海道の泊原発が再稼働へ向けて動き始めています。静岡県の浜岡原発でデータの不正問題が明らかになるなど安全性も疑われ、「核のゴミ」の処分が暗礁に乗り上げたままです……。

本当に原発は必要なのか？ 唯一の被爆国で、「3.11」の原発事故も経験した日本は、大きな岐路に立たされています。

Fridays For Futureで気候変動に取り組み、現在は原子力資料情報室のスタッフとして脱原発に声をあげる川崎彩子さんに若い世代の思いを聞きました。

もっと詳しいロングインタビュー記事はこちらから



「気候正義」と「脱原発」が自然につながった

まずは「気候変動」から「脱原発」へと向かっていった理由を教えてください。

川崎 小・中学校の教科書で環境問題を習ったことから関心を持っていましたが、大学の授業で気候変動のタイムリミットが迫っていることを知り、「関心を持っているだけじゃダメ」と気付いたのがきっかけです。そこで、FoE Japanのシンポジウムに参加したところ、東南アジアの活動家から「気候変動に影響を与えないような暮らしを。なのに、真っ先に影響を受けている」という話を聞いて、気候変動の不平等性を実感して、「気候正義」を掲げるFFFに参加。そこでNGOと「脱原発」の行動をする機会があり、「原発はNG」という人たちの背中を見ているうちに、「原発の中で「気候正義」と「脱原発」が自然につながっていききました。

若い世代は「反原発」ではなく、「脱原発」なんですね。世代の温度差を感じたことはないですか？

川崎 上の世代の方々は「3・11」の危機的な状況に緊迫感を持って活動されてきましたし、さらに上の世代は原発の建設に異を唱えてきました。そこでは「反原発」という柱がすごく重要で、そこに共感できる人たちが集まっているというイメージがあります。一方、同世代で問題意識を持っている人たちは単一のイシューや連帯の数や規模よりも、いろんな問題のつながりを大事にしています。こういった違いはあるような気がします。

韓国・台湾の運動から学んだ「脱原発」へ向けての青写真

韓国・台湾のアクションに参加されて、感じたことを教えてください。

川崎 2024年に、毎年9月にソウルで行われている「気候正義行進」に参加しました。印象に残ったこととしては、気候変動や原発だけではなく、「公平性」を軸に多種多様な団体が集っていたこと。一見、脱原発や気候正義と結び付きそうもない団体を含めて、これほど幅広いイシューで団体・個人が集まるアクションは初めての体験でした。また、運営側のメンバーを含めて参加者の多くが若い同世代だったことにも驚きました。日本では世代ギャップを感じることもあったのですが、海外にもかかわらず、まったくアウェイ感がありませんでした。

台湾では何を感しましたか？

川崎 アジアで初めて「原発ゼロ」となった台湾。「脱原発」を達成した2025年5月17日に行われた台湾電力本社前のお祝い集会では、スピーチや音楽とともに大スクリーンに映し出された数十年にわたる悲願の映像を前に、参加者たちが涙を流して抱き合う姿を目の辺りにすることができました。また、フォーラムでの各国から



らの報告も興味深く、特に台湾で原発立地地域の人々の声を調査し続けてきた活動家が、「社会的廃炉」という言葉で「廃炉には発電所や廃棄物についてだけでなく、社会や人々の感情も含めたより広い影響が含まれる」と指摘していたのは私の糧となっています。また、日本の参加者からは、「止めてくれて本当にありがとう」という発言もありました。政府の「原発輸出政策」のもとに、日本が多くの国々の原発建設に携わってきた責任を重く受け取ったからに他なりません。

「3・11」を知らない子どもたちと「原発ゼロ」を喜び合える世の中へ

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ではありませんが、日本では「3・11」の記憶が薄れ始め、電力供給への懸念から原発再稼働への動きが顕在化しつつあります。これについてはどうお考えですか？

川崎 実は台湾でも、電力不足への懸念から再稼働の動きがあったようです。実際にそのための国民投票も実施され、再稼働への賛成票が過半数を超えたものの、既定の3分の2に達しなかったことから今回は見送られたとのこと。この国民投票に当たっては公聴会や討論会が活発に行われ、その様子はYouTubeでも公開されました。台湾の活動家がいかに、台湾の再稼働推進リーダーたちが「3・11で甚大な被害を受けた日本だって再稼働に向かっていっているじゃないか!!」というロジックで世論を形成しようとしていたそう。改めて、日本の責任の重さを痛感しました。

「3・11」が風化していく現状をどう捉えていますか？

川崎 「私自身、「3・11」が起きた時はまだ10歳。北海道の伊達市で暮らしていたので、地震の大きさも大事に至るほどではありませんでした。私よりさらに下の世代にとっては、当然もつと遠いところにある出来事です。いずれにしても、「3・11を知らない子どもたち」は増えていきます。でも、良くも悪くも「よく知らない」というところからスタートすることも、大切なことだと思います。知らないからこそ可能なアプローチがあるからです。気候変動も原発問題もそうですが、「将来在るべき姿」を描くことって極めて重要じゃないですか。それは、次世代を生きている私たちが上の世代とともに担うべき役目だと考えています。



インタビューー
まにわ 尚之
江東区議会議員

1972年東京都江東区生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、江東区社会福祉協議会に在職。以来、福祉畑一筋。2023年の江東区議会議員選挙に出馬して初当選。障がい者施設の職員をしながら、区政でも精力的な活動をしている。2009年から江東区社会福祉士会会長、2014年から東京社会福祉士会 権利擁護委員会副委員長。



<緊急報告：柏崎刈羽原発再稼働をめぐる状況>



中山 均
(共同代表、新潟県新潟市議)

■はじめに

新潟県の柏崎刈羽原発は、「3.11」福島原発事故を引き起こした東電が運営する原発です。報道等でご存知の通り、その6号機は1月20日に予定されていた再稼働前の検査で制御棒の警報の設定ミスが発覚し、21日の原子炉起動操作もその直後の制御棒警報のトラブルで中断、1月25日現在、原子炉は停止されたままとなっています。

この機会に、この間の状況と新潟の市民の動きについて報告します。

■姑息な知事判断と「人間の鎖」

花角英世・新潟県知事は、昨年11月下旬、「再稼働容認」の判断を下し、その判断を議会に諮るとしました。これは、知事が初当選時に掲げた「再稼働の是非は県民に信を問う」とした自らの公約



昨年11月25日怒りの「県庁包囲・人間の鎖」行動

に反し、きわめて姑息な手法です。これに対し、11月25日、怒りの県庁包囲「人間の鎖」行動

が取り込まれました。県内外から1200名以上の市民が集まり、怒りの声を上げ、この行動は私たち自身のエネルギーと自信にもつながっています。

その後、残念ながら12月22日、県議会に関連議案が可決され、翌日、「地元了解」が国に報告されました。これを受け、今回の再稼働の準備が進められてきたのです。

■抵抗は続く

しかし私たちは、意気消沈してはいません。「地元了解」とは別に、今後も含めていくつかの課題があるからです。今後のことを見通すために、逆に少し時間を遡ってみます。

2007年、中越沖地震の際、柏崎刈羽原発の変圧器の火災や地震の規模が想定を超えていたことを踏まえ、県と地元自治体は、東電との安全協定に基づき、「徹底的な耐震対策や断層の調査」「再稼働の際の事前了解」を求め、実行されました。また、当時の柏崎市長は、消防法に基づいて原発内の全基の危険物施設の緊急使用停止を命じました。消防法では原子炉停止を直接命じることができませんが、この命令により、間接的に運転が規制されたのです。

これらは、何らかのトラブルや不祥事があった場合、県・自治体首長の姿勢がきわめて重要だという点で、今後の取り組みに大切な示唆を与えるエピソードです。

また、今回再稼働準備が進められた6号機には、新規基準で義務付けられた「特重施設」が設置



抗議行動の事前集会で中山が情勢報告と問題提起

されており、その猶予期限は2029年9月です。この時点で完成していなければ稼働できなくなります。また、その完成時点でも、県は何らかの対応を取るべきです。そして、新潟県はこの「2029年9月」を、今年5月末の知事選で選ばれる知事のもとで迎えることになります。

これらを考えると、今年の知事選でどういう知事が就任することになるかが、民主主義にとっても、柏崎刈羽原発への対応を巡っても、きわめて重要となります。それも見据えつつ、停止されている6号機の稼働の断念を求めながら、私たちが運動の一角を占め、奮闘していきます。

<国は健康を守るためのPFAS基準の設定を！>

PFAS（有機フッ素化合物）は、撥水・撥油性や耐熱性を持ち、泡消火剤やフライパン加工、半導体製造などに使われてきました。自然界で分解されにくく環境や体内に蓄積します。発がん性や免疫低下など健康影響が指摘され、世界



兵庫県本部共同代表 / 同県議の丸尾まきが県に申し入れ

各地でPFAS汚染が問題となっています。日本ではPFASが全国の河川や地下水で暫定基準

値（PFOS・PFOA合計50 ng/L）を超える地点が多く、2023年度調査で47都道府県のうち22県で超過が確認されています。汚染は工場や、産業廃棄物処分場、米軍・自衛隊基地周辺で特に顕著です。

アメリカでは、水道水のPFAS基準がPFOS 4ng/L以下、PFOA 4ng/L以下にするなど、健康被害を防ぐために厳格な基準が設定されています。

しかし、日本はPFOS・PFOA合計50 ng/Lの暫定基準を強化することなく、2026年4月

からの正式な基準としてしまいました。

緑の党の兵庫県本部は10月下旬に、静岡県本部は12月に、県内の自治体や水道企業団などの水を供給する団体に対して、「アメリカ並みの基準を設定すること、日本政府に対してもアメリカ並みの基準の設定を要請すること」などを盛り込んだ一斉申し入れを行いました。

国に政策転換を迫るため、各地での働きかけが重要になってきます。ぜひご注目ください。



松本 なみほ
(兵庫県本部)

主な声明・論説 2025年12月～2026年1月

詳しく知る▼



- ◆ COP30 閉幕を受けて、化石燃料に依存する高市政権に抗議します (2025/12/18)
- ◆ ベネズエラに対する米国の軍事攻撃を強く非難するとともに、平和で民主的なベネズエラへの移行を求めます (1/6)
- ◆ 高市首相の衆院解散に反対します (1/13)

世界のみどり GLOBAL GREENS

詳しく知る▼



緑の党は世界100以上の国や地域で活動し、グローバル・グリーンズ(GG)というネットワークをつくっています。



2025/11/19 デンマークの多くの自治体で市議会選挙が行われ、緑の党(SF-GreenLeft)は全土で17.9%の票を獲得し、首都コペンハーゲンを含む5市で市長を輩出した。緑の党の首都の市長はラトビア、オランダ、ハンガリー、クロアチアに続きEU内で5番目。

2025/11/20 5月の全国自治体選挙でUK緑の党(イングランド・ウェールズ緑の党)が議席を伸ばした。党員数は第3位となったと同党が発表。政党支持率は第2位になったとの世論調査結果が報道された。



自治体選挙

2/15	東京都町田市議選	やまきみずえ	新	サ	推薦
4/19	埼玉県久喜市議選	猪股和雄	現	会	推薦

新:新人 現:現職 / 会:会員 サ:サポーター 非:非会員

緑の党事務所が移転し荻窪で開設。オープンハウス街宣にはシロベエも駆けつけた。(2025/12/13)



緑の党 <https://greens.gr.jp>
E-Mail greens@greens.gr.jp

事務所を移転しました。(新住所) 東京都杉並区上荻1丁目24-12 第1浅賀ビル2A TEL 03-5364-9010 FAX 03-3220-4516

会員・サポーター募集しています

カンパにご協力をお願いします

城南信用金庫 高円寺支店(店番号036) 普通預金 口座番号:340392 名称:緑の党グリーンズジャパン

郵便口座 ゆうちょ銀行 口座番号:00100-9-262967 名称:緑の党 他金融機関からのお振り込みの場合 当座預金 店名:〇一九(ゼロイチキュー) 口座番号:262967